

兵教生の就職

教員と保育士への就職率は  
全国1位に輝く

平成23(2011)年3月の卒業生166人の就職率は96%(大学院進学者14人を除く)を誇る。教員または保育士に就いたのは133人で、教員・保育士就職率80・1%は全国第1位。教員に限れば124人で、就職率74・7%は第2位である。教員就職者の約8割が兵庫県内の公立学校・園に採用された。専門職学位課程(教職大学院)の修了生は現職教員と後期博士課程進学者を除く、39人全員が教職に就いた。

就職支援室では、学部3年次を対象とした教職講座や各種セミナーに加え、教育現場で活躍している卒業生による講話、全学部生対象の一般教養対策講座、教職準備講座などを実施。今後も教職採用の傾向などを鑑みながら、入学時から卒業後までを見通したキャリア形成の支援力を入れていく。

※国立の教員養成大学学部(教員養成課程)等の23(2011)年3月卒業者の就職状況(23年12月27日文科科学省発表)に基づく

就職に必要なこと

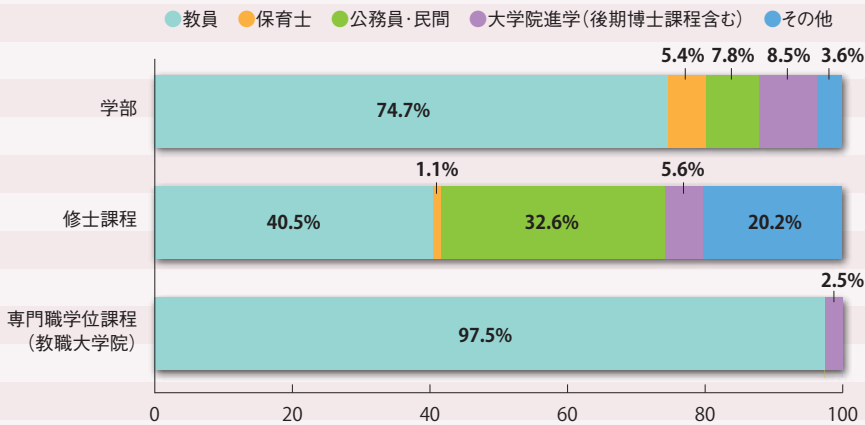


あら い はじめ  
**新井肇**

就職支援室長  
総合教職キャリアセンター設置準備室長

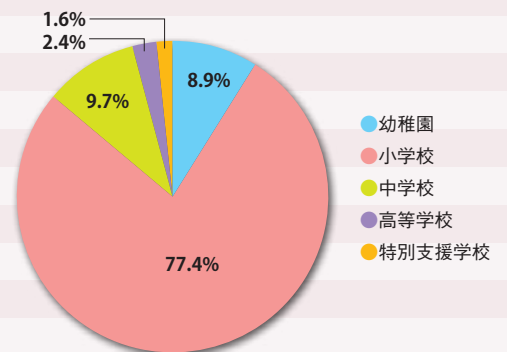
仕事は人生の時間の多くを注ぎ込むものです。できれば仕事を通じて、人生の喜びや価値を感じてみたいものです。そのような仕事に就くには、ただ漫然と時を過ごすのではなく、自覚的な内省や行動、つまり、主体的に自己のキャリアをデザインすることが必要になります。本学は教員養成を目的とする大学ですので、多くの学生の皆さんは教職を目指して大学生生活を過ごしていると思いますが、あらためて目指す職業を中心に置いて、自分自身の人生の在り方を思い描くことが大切ではないでしょうか。就職支援室と総合教職キャリアセンター設置準備室では、皆さんのキャリアデザインとその実現のために多様な講座や関連情報の提供、相談活動などを行っていますので、ぜひ活用してください。

就職・進学等状況



平成23(2011)年3月卒業・修了者の同年9月末現在(現職者・留学生を除く)

学部 教員就職者の内訳



大学院の3年間でいろいろな人たちに出会いました。大学院の先生方、実習先の先生方、同期の仲間たち。その全てが私にとっては“教師”でした。全ての人、モノから学び続けるからこそ真の教師のあるべき姿ではないでしょうか。4か月の実習や学校ボランティアで出会った子どもたちからもさまざまなことを教わりました。彼らが健やかに育つよう、真の教師を目指して頑張っていきたいです。

就職への意識の変化

就職後の目標



かま だ ゆう き  
**鎌田裕規**さん

大学院専門職学位課程  
小学校教員養成特別コース3年  
神戸市立小学校教員採用試験に合格



私は教員採用試験への不安が大きかったので、就職支援室の教職講座や模擬面接にできる限り参加しました。特に教職講座では基本的な対策から丁寧に指導していただきました。一番良かったことは、試験の対策だけでなく、教員になってから直面する問題への対応や心掛けについても学べたことです。単に教員になることが目標でしたが、受講してからは自分の目指す、温かさのある厳しさや優しさを持ち合わせた教師像に向けて学び続けることが目標に変わりました。

なべ た に ま り  
**鋼谷茉莉**さん

学校教育学部学校教育系コース4年  
兵庫県公立小学校教員採用試験に合格